

# 白石の農×育てる人

## ～農家の輝く姿を情報発信！～

2カ月に1回、白石のすてきな農家さんを紹介し、私たちの身近にある「農業」の情報を楽しくお届けします。

今回は、これからの白石の農業を担う若手農家の大和田良樹さんと佐藤雄太さんに話を伺いました。



☎農林課 ☎22-1253

### 安全・安心の「葉とらずリンゴ」を守っています！



すまる 壽丸果樹園  
おおわだ よしき  
大和田 良樹さん

良樹さんは、仙台市で会社員として勤めていましたが、結婚を機に妻の両親が経営する壽丸果樹園に就農。現在は、妻の両親と妻、良樹さんの4人で、葉をとらないで甘みを凝縮させる「葉とらずリンゴ」を栽培し、みやぎの環境にやさしい農作物認証・表示制度の県認証を受けて、販売を行っています。

壽丸果樹園では、樹のささいな変化も見逃さないよう状態確認を徹底し、手間を惜しまずに、減農薬・減化学肥料栽培に取り組み、また、SNSを活用した情報発信にも力を入れています。

農業祭などの市主催イベントで販売していますので、壽丸ブランドのリンゴをぜひご賞味ください。



▲葉をとらないことで甘みが凝縮される「葉とらずリンゴ」

### 支え合いの輪を広げます！

雄太さんは、祖父の手伝いをしていくうちに農業に興味を持ち、農業大学に進学し、専門的な知識と技術を身に付けました。

卒業後、兼業農家として就農。米づくりに力を入れるために24歳で専業農家になり、祖父から引き継いだ約7haで耕作を開始しましたが、徐々に耕作面積を増やし、現在は、約15haまで規模を拡大しています。



▲子どものころから好きな機械を点検する雄太さん

雄太さんは、堆肥の利用や収穫後のもみ殻の提供など、市内の畜産農家と協力関係を築き、「先輩農家の方々からアドバイスをいただき、人間関係に恵まれていることが自信につながっている。将来的には、アドバイザーとして若い人が就農しやすい環境を作りたい」と今後の抱負を笑顔で話してくれました。



米農家 さとう ゆうた  
佐藤 雄太さん

# 白石市 環境衛生新聞

☎環境課 ☎22-1314

## 混合している注射器

近頃、資源ごみや粗大ごみの中から在宅医療廃棄物とみられる注射器が相次いで発見されています。針がついたままのものもあり、収集や処理の過程で作業員がけがをしたり、感染症の危険もあつたりします。



▲実際に混合していた注射器

注射器などの医療系廃棄物を廃棄する際は、注意点をまとめましたので、今一度自分の仕方を確認していただくようお願いいたします。

## 危険！カセットボンベ

カセットボンベやスプレー缶の中身が残ったまま、また使い切った後でも缶に穴を空けずに廃棄するとごみ収集車の中で発火する危険性があります。収集車内で缶が押しつぶされ、漏れた可燃性ガスが充満し、ごみ圧縮時に生じた火花などで引火し火災に至ります。実際に本市でもごみ収集車の火災が起こっています。収集時間の遅れ・収集車の故障の原因になるほか、周辺の住民、作業員、運転手にも危険が生じます。適切な処理をしてから集積所に出すようお願いいたします。

- 【医療系廃棄物】
- ①注射器（針付きなど鋭利なもの）  
→医療機関・販売店などに相談
  - ②鋭利なもの以外（使用済みガーゼ、ストーマ袋など）  
→もやせるごみへ

## カセットボンベ・スプレー缶の処理

カセットボンベ、スプレー缶などは必ず穴を開けて排出してください。ガス（中身）を使い切ったから、火気のない風通しの良い場所から、穴を開けます。市販の穴開け機のほか、ボールやドライバードでも開けることができます。※ガスは空気より重いので、穴を開けたら穴を下にしてしばらく置くと、完全に中身を抜くことができます。



▶ボールで穴を開ける



▶穴を開けた後



▲収集車火災後の様子

## 見落としがちなカセットコンロ

カセットコンロを捨てる際は「カセットボンベを外してから」は当然のことですが、着火装置に電池が使われていることがあり、そのまま排出すると着火装置から火花が出て火災の原因となる場合があります。

カセットコンロを処分する際には電池が入っていないか確認の上、入っているときは取り外して排出をお願いします。

## 充電式電池も適切な処分を

ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池・コイン電池・ボタン電池・電子タバコ・電化製品類バッテリー

環境課（健康センター内）または各地区公民館設置のボックスへ！

※絶縁処理をお願いします。  
※車のバッテリーは引き取りできません。